子に会えぬ悩み 解決探る

中区で30日 離婚や別居の親 交流会

法的手続きなど助言

配偶者との離婚や別居によりわが子と会えなくなった親の交流会が30日、広島市中区である。子どもとの「面会交流」をめぐる家裁への調停申し立てが増加傾向にある中、悩みを打ち明け、助言し合おうと、市内の男性が初めて企画した。（田中美千子）

男性は4年前から妻子と別居中。家庭内暴力や不貞行為はなく、妻の両親と仲たがいしたのが原因という。子どもとの定期、継続的な面会交流の調停を広島家裁へ申し立て、少なくとも月1回の実現で折り合ったが、昨年は数回にとどまった。男性は「なかなか約束を守ってもらえなくて」と漏らす。

広島家裁によると2014年、県内では面会交流の調停申し立てが204件あった。過去10年でみると、05～09年は140～170件台で推移。10年以降は200～300件台に増えている。

日本は離婚の際、父母のどちらかを親権者に指定する「単独親権」を採用。親権を失った親は子に会える保障がなく、調停を申し立てる事例が多いという。

交流会は午後1～5時、中区東白島町の大人の寺小屋3階フリースペースで。別居親子やその家族らでつくる「会」は広島市で市民活動の支援拠点の運営、犬猫の殺処分ゼロを目指す啓発活動、在住外国人の生活支援など日頃の取り組みを伝え、参加や協力を呼び掛ける。

米中枢同時テロ被害者

伊東さんしのび記念樹

母校の城北高 プレートも除幕

2001年の米中枢同時テロで亡くなった広島市安芸区出身の伊東和重さん（35）に、同校のシンボ

伊東さんをしのんで植樹したモミジを見る次男さん（手前右）や同級生たち

行ニューヨーク支店に勤務。テロで崩壊した世界貿易センタービルにいたという。

同校の宮本誠教諭（50）たち高校時代の同級生が中心となり、記念樹の植樹とプレートの設置を企画した。宮本教諭は「彼が生きた証しを次世代に残し、平和について生徒たちが考える場になれば」と話していた。（加茂孝之）

人気店の店主 広島の食語る

30日中区イベント

多彩な分野で活躍する県内の人を紹介し、つなげるトークイベント「広島の楽しい100人」が30日午後6時半から、広島市中区袋町の合人社ウェンディ・ひとまちプラザである。今回は「広島の食」をテーマに人気店の店主4人が語る。

汁なし担々麺「くにまつ」、呉冷麺「珍来.com軒」、お好み焼き「ロペズ」、魚介系ラーメン「ふじもと」の各店の経営者がゲスト。対談形式で店の味を確立するまでの苦労話、広島で出店し続けるこだわりなどについて聞く。終了後には、近くの飲食店で登壇者も交えた懇親会もある。

運営委の桐谷久代さん(46)は「広島を好きになるにはまず胃袋から。広島を食で有名にする人たちの思いを聞いてほしい」と話している。参加費500円。懇親会は予約と別途料金が必要。申し込みは、メールアドレスtanoshii100nin@gmail.com

ボランティアの活動内容を紹介

NPOなど13日

ボランティア活動に関心のある人を対象に、県内の奉仕団体やNPO法人が活動内容を紹介する「ボランティア交流サミットひろしま」が2月13日午前10時半から、広島市南区比治山本町の県立広島産業会館である。

広島市を中心に、廿日市市や府中町などの18団体がブースを出展。地域住民の交流拠点の運営、犬猫の殺処分ゼロを目指す啓発活動、在住外国人の生活支援など日頃の取り組みを伝え、参加や協力を呼び掛ける。

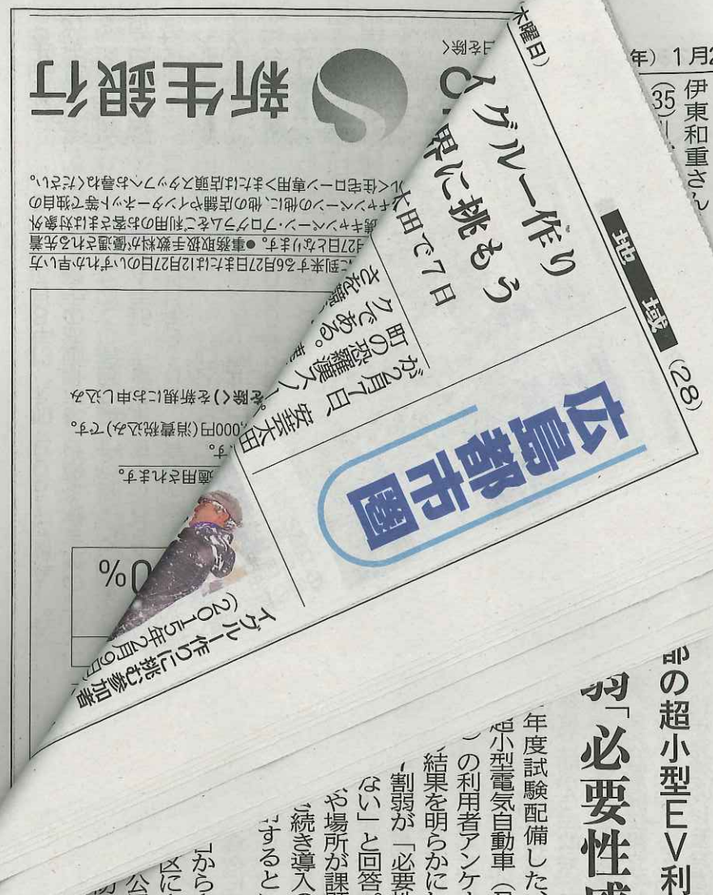
反射材バンドに広響ロゴ

県警など作製 プロ団体コラボ3作目

県警と呉交通安全センター（呉市）は、夜間の歩行者の交通事故防止に役立ててもらおうと、広島交響楽団のロゴが入った反射材付きリストバンドを作った。県警がプロ団体とコラボしたバンド作製は、広島東洋カープとサンフレッチェ広島に続き3作目。

バンドは長さ約30㌢、幅約3㌢。白のバンドの左右に、ハトをモチーフにした広響のロゴをあしらった。広響と県警がデザインを決めて3千本を作った。県警は啓発イベントなどで配る。

県警によると、反射材を着用すると、夜間でも57㍍先から車のライトで発見できる。昨年の交通事故死者95人のうち夜間の歩行者は23人で、22人が反射材を着けていた。通企画課は「視認性に気軽に着用し、デザインに仕



超小型EV利用者の「必要性感じぬ」

広島市調査

年度試験配備した、超小型電気自動車（EV）大塚・伴南17日だった。

の利用者アンケートの結果を明らかにし「必要性」と回答。割弱が「必要性ない」と回答。や場所が課題続き導入のするといから1区に1公民

地域活動での利用について、回答者（81人）の66%（54人）が必要性を感じず、「導入した方がよい」は26%（21人）だった。市の担当は「台数が少なく使い勝手が悪かったのでは」としている。

市は2013年度、超小型EV導入について大学教授や住民らの研究会を設置。国の事業に採択されて14、15年度に試験配備した。14年度は別の3地区で調査。個人利用した37人のうち7割が日常生活での利用を望んだ。

市は導入には月約7万5千円の維持費が必要と試算。国の補助を前提に「本会では採算る」として降も調査す

日は伴58日、伴東73日、

「ネバダデー」核廃絶訴え

原爆慰霊碑前で座り込み

米国が（略）めて核実験バダデー」原水禁と県（略）ンターは、の平和記念兵器廃絶を込みをした加した。

県原水禁代表委員は（略）の廃絶に向

核兵器廃絶を求めて座り込みするメンバー